

「ビッグデータ時代の危機管理とリーガルクライシス対応」

～トレンドから見る、平時から有事までの情報ガバナンス強化～

共催：デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社
オープンテキスト株式会社

昨今、コンプライアンス(法令順守)や文書情報管理への関心は、企業を取り巻く社会環境の様々な変化の中でますます高まっています。実際に情報漏洩や従業員による不正が発生すると、損害賠償金の支払いといった直接的なコスト負担のみならず、社会的信頼の失墜による業績への悪化や、株主・取引先・従業員といったステークホルダーへの対応など、企業に与える影響は計り知れません。そのため、インシデント発生防止に有効な平時における文書情報管理や、有事の際に迅速に対応するためのデータマネジメントなど、様々な視点から文書情報を整理、統合し、有効に活用するかが重要になっています。

今回、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社およびオープンテキスト株式会社は、「ビッグデータ時代の危機管理とリーガルクライシス対応」と題し、下記セミナーを開催いたします。本セミナーでは、アンダーソン・毛利・友常法律事務所において危機管理の分野を中心に多方面で活躍される弁護士の先生方をお招きし、平時から有事までを見据えた文書情報管理のあり方を解説いたします。経営者から現場の管理者の方まで、幅広い方々に今後の参考情報としてお役立ていただければ幸いです。

- 対象者：経営企画部門／事業戦略・事業開発部門／情報システム部門／研究開発部門
／法務・知的財産担当部門の管理者および責任者様
- 開催日時：2017年8月4日(金)13:30～17:30(受付開始 13:00)
- 会場：東京ステーションコンファレンス(東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー6F)
- 定員：100名
 - ※ 参加者は1社につき2名様までとさせていただきます。
 - ※ 同業他社の方は、お断りする場合がありますのでご了承ください。
 - ※ ご好評につき申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。予めご了承ください。
- 受講料：無料
- 申込方法：Webサイト(<https://www2.deloitte.com/jp/semi3819>)よりお申し込みください。
 - ※ お申し込みは株式会社シャノンのサービスを利用しています。
 - ご記入いただく内容はSSL暗号化通信により内容の保護を図っております。
- 申込締切：2017年7月26日(水)

■ 講演内容:

時間	テーマ	講師
13:00-13:30	受付	
13:30-13:35	Opening remarks	オープンテキスト株式会社 代表取締役社長 萩野 武志氏
13:35-14:35 (60mins)	基調講演 『企業の危機管理と国内外の規制当局の最新動向』 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 企業不祥事発生時対応の最新動向 ➤ 注目すべき国内外の規制当局の新たな動き ➤ 米国訴訟(Discovery)の概要とトレンド 	アンダーソン・毛利・友常法律事務所 甲斐 淑浩氏
14:35-15:35 (60mins)	『ビッグデータ時代の危機管理の実務』 <ul style="list-style-type: none"> ➤ ビッグデータ時代の危機管理の心構え ➤ 不正調査対応における実務上の課題とポイント ➤ e-Discovery 対応における実務上の課題とポイント 	アンダーソン・毛利・友常法律事務所 三宅 英貴氏
	休憩時間 10 分	
15:45-16:30 (45mins)	『危機管理に向けた情報ガバナンスの実現』 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 企業における情報ガバナンスの現状 ➤ 情報ガバナンス強化に向けたデータマネジメント ➤ 危機管理のためのデータマネジメント実現の方法 	デロイト トーマツ ファイナンシャルアド バイザリー合同会社 齋藤 滋春
16:30-17:15 (45mins)	『e-Discovery の初動に備えて』 <ul style="list-style-type: none"> ➤ レコードマネージメント、シングルインスタンス、監査証跡など、e-Discovery に備えるべきデータマネジメントのポイント 	オープンテキスト株式会社 大沢 明広氏
17:15-17:30	質疑応答	

※講演テーマ・講師は予告なく変更となる場合がございます。予めご了承ください。

■ 問い合わせ先:

デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社 セミナー事務局
Tel:03-6213-1180 E-mail:dtfa_seminar@tohmatu.co.jp

■ 講師紹介:

講師	
	<p>甲斐 淑浩 (かい よしひろ) アンダーソン・毛利・友常法律事務所 パートナー弁護士 1992 年に検事任官後、17 年間、東京地検、福岡地検、名古屋地検等で捜査・公判に従事するとともに、法務省刑事局、金融庁、法務総合研究所、内閣法制局に出向して立法作業等を行う。2009 年に弁護士登録。2010 年 1 月にアンダーソン・毛利・友常法律事務所に入所し、企業不祥事の調査など危機管理やコンプライアンス案件等を中心に担当している。『域外適用法令のすべて』(きんざい 2013 年)、『金融商品取引法違反への実務対応—虚偽記載・インサイダー取引を中心として』(商事法務 2011 年)ほか著作多数。</p>
	<p>三宅 英貴 (みやけ ひでたか) アンダーソン・毛利・友常法律事務所 スペシャル・カウンセラー弁護士 2000 年に東京検事任官後、札幌地検、仙台地検、東京地検を経て 2004 年 6 月に弁護士登録。外資系法律事務所を経て 2010 年から証券取引等監視委員会で上場企業に対する開示検査や海外機関投資家の不正取引の調査に従事。2013 年から大手監査法人の不正調査チームで会計監査における不正リスク対応支援やデジタルフォレンジック業務を経験後、2017 年 4 月にアンダーソン・毛利・友常法律事務所に入所。</p>
	<p>齋藤 滋春 (さいとう しげはる) デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社 ディレクター 外資系コンサルティングファーム、シンクタンクなどの経営コンサルタントを経て、外資系 ERP ベンダーのロジスティクス関連コンサルタント、データ関連コンサルタント/エンジニアとして従事。その後、IT 系ベンチャー企業数社、外資系 IT コンサルティングファームにてエンタープライズ系システム、特にデータマネジメントを中心とした業務・システムの構築から運用保守までのコンサルティングを提供。 これまでの知見を活かし、クライシスマネジメントを念頭においた平時から有事までのデータマネジメントに関する業務・システムの構築から運用保守までのアドバイス業務を提供する。 2017 年デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社に入社。</p>
	<p>大沢 明広(おおさわ あきひろ) オープンテキスト株式会社 ソリューションコンサルタント 企業全体の情報管理活用を包括的に実現する EIM(Enterprise Information Management)という考え方に基づき、eDiscovery に対応できる平時における仕組みづくり、特に AI を利用した非構造化データの管理と活用の仕方の提案活動や、啓蒙活動を行っている。</p>

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人および DT 弁護士法人を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約 40 都市に約 9,400 名の専門家(公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド("DTTL")ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または"Deloitte Global")はクライアントへのサービス提供を行いません。Deloitte のメンバーファームによるグローバルネットワークの詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited